業務名（業務コード）			搬入確認登録（システム対象内保税運送）（ＢＩＮ０１）																				
項番	欄	項目名	ID	属性	桁	繰1	繰2	条件														コード	入力条件／形式
1		入力共通項目		an	398			M															
2		保税運送申告番号等	OLT	an	11			C															（１）システムにより保税運送承認された貨物の搬入確認を行う場合は、必須入力 （２）ＰＣＨ業務で保税運送承認された貨物の搬入確認を行う場合は、入力不可
3		搬入開始年月日	IDT	n	8			M															運送開始年月日≦搬入開始年月日≦システム年月日であること
4		搬入開始時刻	ITM	n	4			M															搬入開始年月日時刻＜搬入終了年月日時刻であること
5		搬入終了年月日	EDT	n	8			M															搬入開始年月日≦搬入終了年月日≦システム年月日であること
6		搬入終了時刻	ETM	n	4			M															搬入終了年月日時刻≦システム年月日時刻であること
7		無料期間適用表示	ALC	an	2			C														航空会社コード	（１）保管料の無料期間を適用する場合は、航空会社を入力 （２）無料期間を適用している保税蔵置場の場合で、他空港向一括保税運送された貨物の場合は、必須入力 （３）検疫の経由運送による保税運送で発送場所と運送先が同一の場合は入力不可
8	18	ＡＷＢ番号	AWB	an	20			M															ＰＣＨ業務で保税運送承認された貨物の搬入確認を行う場合は、２欄目以降入力不可
9	*	到着個数	APS	n	6			C															（１）発送個数と到着個数が異なる場合に到着個数を入力 （２）ＵＬＤの場合は、チェックしない （３）ＵＤＡ業務で仕分けられた貨物の場合は、入力不可
10	*	特殊貨物記号	SPC	an	3			C														ＳＰＣ（特殊貨物）コード	（１）ＵＬＤの場合は、チェックしない （２）ＵＤＡ業務で仕分けられた貨物の場合は、入力不可
11	*	事故貨物	DMG	an	5			C														事故コード	（１）複数の事故がある場合は、代表とするものを入力 （２）税関届出を必要とする事故は、先頭１桁目に「Ｚ」を入力 （３）税関届出を必要としない民間の事故は、入力自由 （４）ＵＬＤの場合は、チェックしない （５）ＵＤＡ業務で仕分けられた貨物の場合は、入力不可
12	*	ロケーション	LOC	an	80			C															（１）以下の形式で入力 ロケーション、符号「，」、個数 例）ＡＢＣ，個数 ①ロケーション：３桁以上の英数字 ②個数：６桁以内の数字 ③単独ロケーション入力の場合、個数は省略可 ④複数ロケーション入力の場合、ロケーションと個数は対となっていること ⑤ロケーションと個数は「，」で区切ること （２）特殊貨物ロケーションコード（保管料対象）の場合 ロケーション（３桁）、符号「，」、個数 例）ＶＡＬ（個数の省略可） ＶＡＬ，個数（複数ロケーション入力可） ＶＡＬ／ＡＢＣＤ，個数（「／」以降は自由入力） （３）ＳＰ貨物の場合は、先頭２桁に″ＳＰ″を入力 例）ＳＰＸ（３桁で入力） （４）特殊貨物ロケーションコードは、５種類以内であること （５）スプリット貨物の場合、保税蔵置場単位のロケーション桁数の合計が８０桁以下であること。 （６）ＵＬＤの場合は、チェックしない （７）ＵＤＡ業務で仕分けられた貨物の場合は、入力不可 （８）他所蔵置場所への搬入の場合は、入力不可 （９）検疫の経由運送による保税運送で発送場所と運送先が同一の場合は、入力不可
13	*	手作業／保留表示	MSA	an	1			C															（１）ロケーションを手作業で管理する場合は、「Ｍ」を入力 （２）貨物が到着しなかった場合は、搬入保留の旨「Ｐ」を入力 （３）ＵＬＤの場合は、チェックしない （４）ＵＤＡ業務で仕分けられた貨物の場合は、「Ｍ」は入力不可 （５）他所蔵置場所への搬入の場合は、「Ｍ」は入力不可 （６）検疫の経由運送による保税運送で発送場所と運送先が同一の場合は、「Ｍ」は入力不可